

平成25年度病害虫発生予報第10号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	やや少	やや少
	うどんこ病	やや多	やや多
	褐斑病	少	少
	菌核病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや少	やや少
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類	並	並
たまねぎ	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	やや多	やや多
	ハダニ類	やや少	やや少
ブロッコリー	黒腐病	多	やや多
	べと病	並	並
	コナガ	並	並

【発生予報】 本文の()内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.5%(2.0%)、発生圃場率は16.7%(29.1%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は6.6%(3.3%)、発生圃場率は58.3%(40.0%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 病勢が進行すると防除困難となるため、早期発見・早期防除に努める。
- イ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率1.8%、発生圃場率28.5%)。

4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率2.1%)。

5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率1.7%)。

6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.0%(0.2%)、発生圃場率は8.3%(15.3%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア ミナミキイロアザミウマは、吸汁により黄化えそ病を媒介するため、発生初期からの防除を徹底する。
- イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

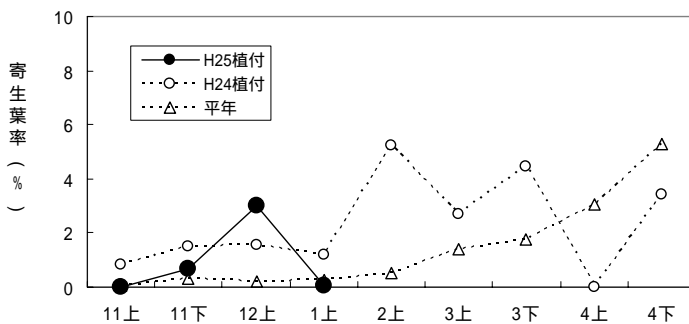


図 ミナミキイロアザミウマ寄生葉率の推移

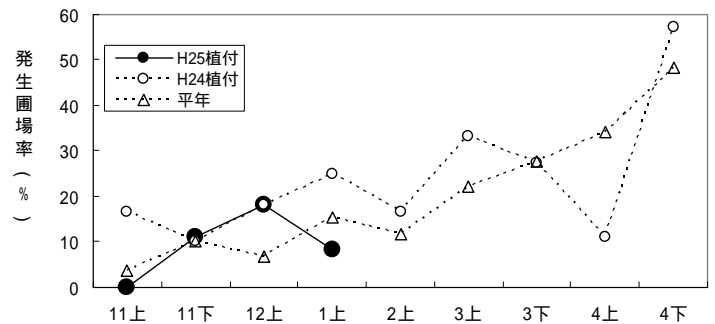


図 ミナミキイロアザミウマ発生圃場率の推移

7. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.6%(1.1%)、発生圃場率は25.0%(26.9%)であった。

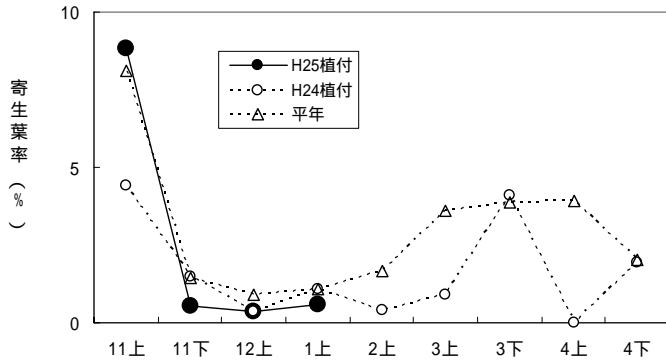


図 キュウリコナジラミ類 寄生葉率の推移

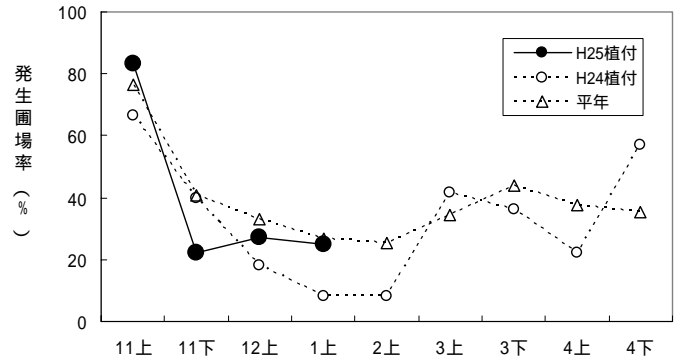


図 キュウリコナジラミ類 発生圃場率の推移

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.2%(過去9カ年平均0.4%)、発生圃場率は16.7%(同23.2%)であった。

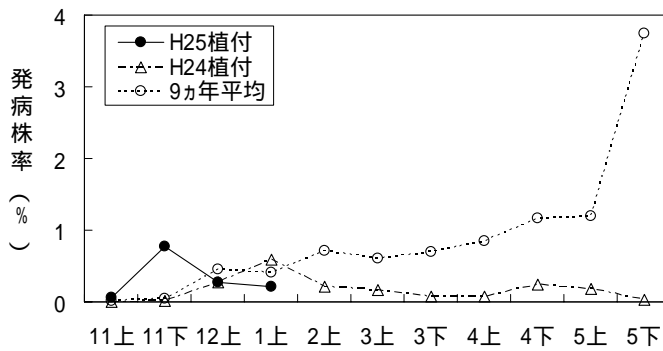


図 トマト 黄化葉巻病 発病株率の推移

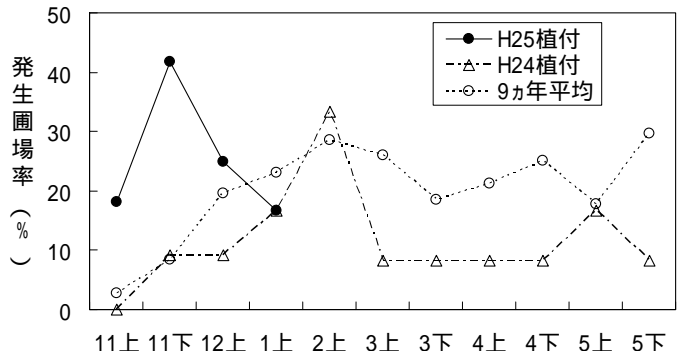


図 トマト 黄化葉巻病 発生圃場率の推移

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率0.0%(0.0%)、発生圃場率は8.3%(1.0%)であった。

3. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.3%(寄生株率0.6%)、発生圃場率は16.7%(20.4%)であった。

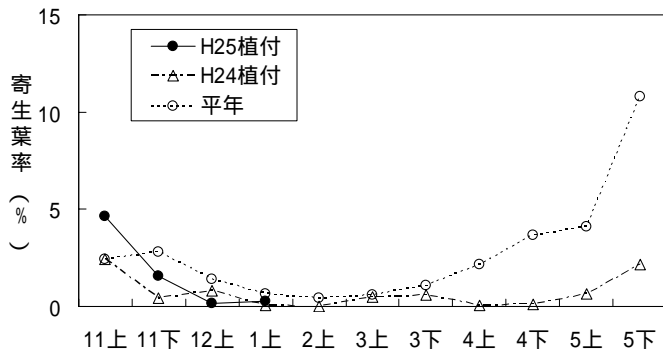


図 トマトコナジラミ類 寄生複葉率の推移

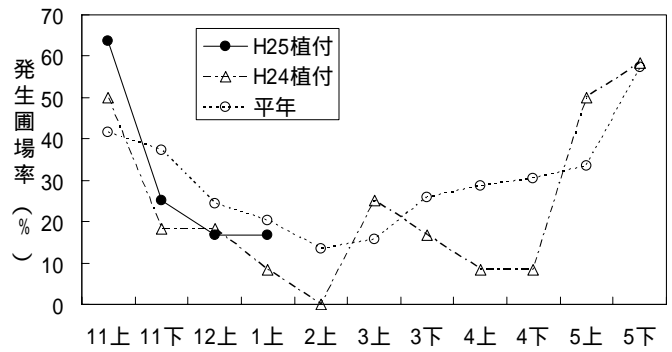


図 トマトコナジラミ類 発生圃場率の推移

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.0%)。

2. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は8.8%(10.5%)、発生圃場率は60.0%(51.1%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.1%(0.3%)、発生圃場率は3.7%(7.1%)、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は3.7%(4.2%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率5.1%)。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.5%(1.0%)、発生圃場率は29.6%(11.3%)であった。

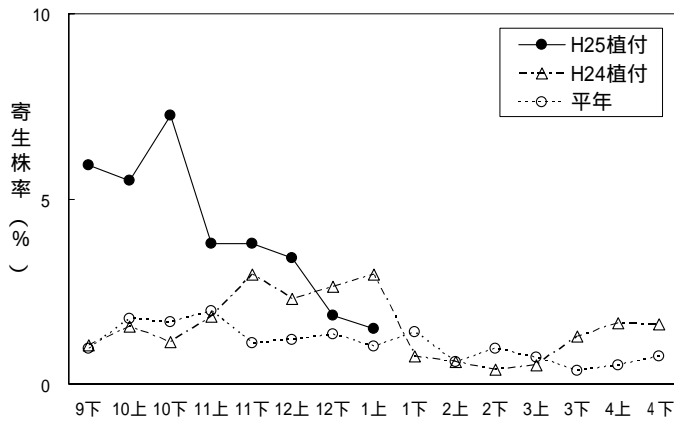


図 いちご アブラムシ類 寄生株率の推移
 平均: H15 ~ H24の平均値(最大・小値除く)
 ただし、12/下、1/下、2/下はH19 ~ H24の平均値

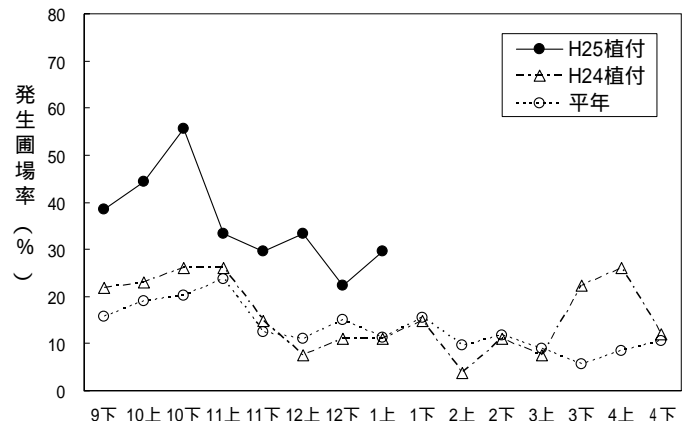


図 いちご アブラムシ類 発生圃場率の推移
 平均: H15 ~ H24の平均値(最大・小値除く)
 ただし、12/下、1/下、2/下はH19 ~ H24の平均値

(3) 防除上注意すべき事項

ア 花のがくに寄生しやすいので、発生を認めたら初期のうちに防除を行う。

イ 薬剤のかけむらがあると防除効果が低下するので、葉裏まで十分に散布する。

4. ハダニ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.2%(4.3%)、発生圃場率は22.2%(38.8%)であった。

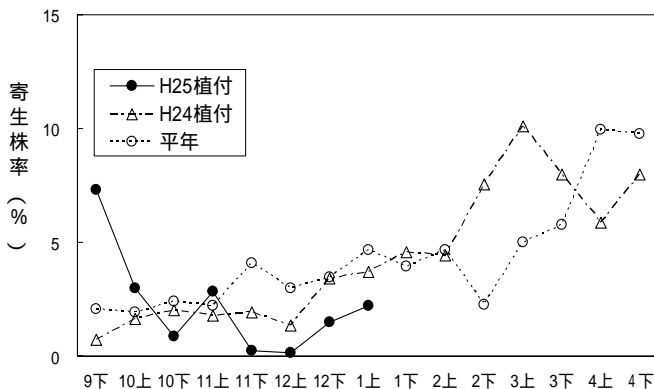


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移
 平均: H15 ~ H24の平均値(最大・小値除く)
 ただし、12/下、1/下、2/下はH19 ~ H24の平均値

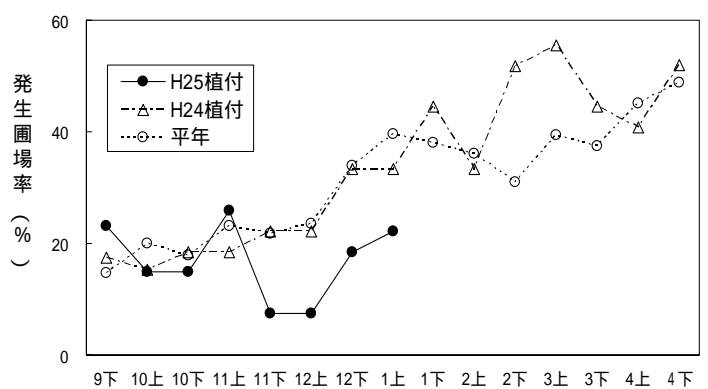


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移
 平均: H15 ~ H24の平均値(最大・小値除く)
 ただし、12/下、1/下、2/下はH19 ~ H24の平均値

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は25.8%(過去6カ年平均0.7%)、発生圃場率は33.3%(同4.7%)であり、一部多発地域があった。

イ 向こう1か月の気温は低く、降水量は少ない見込みである。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤散布は予防的に実施し初期感染を防ぐ。害虫の食害痕等からも病原菌が侵入するので、害虫防除も徹底する。

イ 発生の多い圃場では発蕾までに防除を徹底する。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(過去6カ年平均発病株率0.6%、発生圃場率1.4%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は2.0%(過去6カ年平均2.1%)、発生圃場率は25.0%(同15.6%)であった。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

【参考】

気象 (平成26年1月10日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	30	30
降水量	40	30	30
日照時間	30	40	30

予報対象地域：九州北部地域

平成25年度の気象経過 (長崎海洋气象台)

